

令和2年度第1回誰もが共に暮らすための市民会議アンケート結果

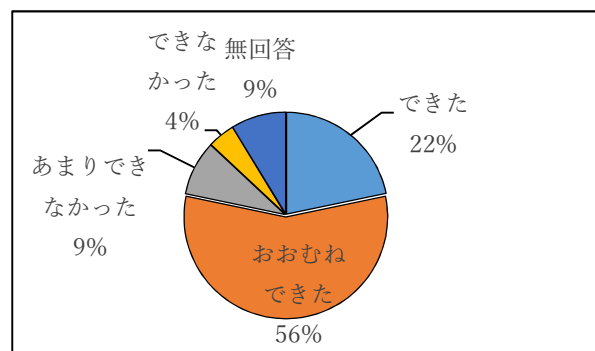
令和2年度第1回誰もが共に暮らすための市民会議（書面会議）において実施しました、アンケートについて結果をまとめました。アンケート結果につきましては、今後の市民会議の運営や、障害者施策の参考とさせていただきます。ご協力いただきましてありがとうございました。

意見シート提出数	アンケート回答数	アンケート回収率
31名	23件	74%

○市民会議に関する設問

問1 今回は書面による開催でしたが、意見シートを提出することで、あなたの考えを述べることはできましたか。

できた	おおむねできた	あまりできなかった	できなかった	無回答
5件	13件	2件	1件	2件

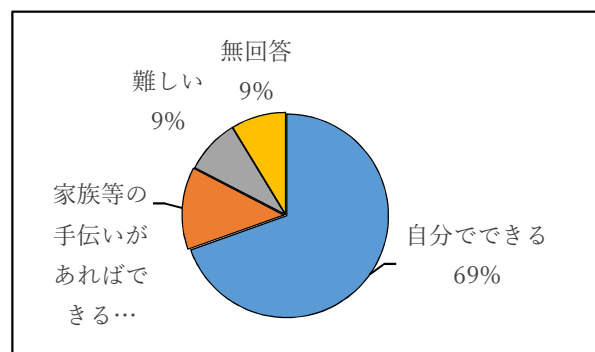


問2 今回のように書面会議とする場合、より工夫すべき点や配慮が必要なことがあれば教えてください。

- ・集まっての話し合いよりハードルが高いと思うので、記述式ではなく、選択式で回答ができる項目も設ける等の参加しやすい形態を検討する必要がある。
- ・週末の前に資料を配布していただくと検討する時間がとれる。
- ・書面開催であれば、会社の業務に左右されずに参加できるメリットもあるし、精査してまとめられるので、建設的な意見を提出できると思う。
- ・リアルタイムで、他の参加者の大まかなご意見やさいたま市からのレスポンスが知れるとありがたい。
- ・グループでの話し合いは、他の方のご意見を聞いて思い出す自分の意見もあるので、書面になると上げる意見が少なく偏ってしまうように思います。できる方でのリモート会議を実現してはいかがでしょうか。

問3 (1) パソコンやスマホ、タブレットなどで、インターネットを使うことはできますか。

自分でできる	家族等の手伝いがあればできる	むずかしい	無回答
16件	3件	2件	2件



**問 3 (2) 感染症予防を踏まえて、今後、どのような形で市民会議を開催したらよいと思いますか。
あなたのアイデアを教えてください。**

- ・市民会議のスタイルは、グループ討議のため、着座の際隣同士の距離が近くなることから、密になってしまう。人との距離を保ちつつのグループ討議は難しいだろう。今後増えてくるであろうオンライン会議も視野に入れていただきたいと思う一方、環境が整った人のみが市民会議に参加できるスタイルもよくないと思うので、ネット環境は課題である。
- ・少人数で住まいの地区で実施してほしい。
- ・Zoom等の会議ソフトを使用したオンライン開催がよいと思う。全員でのミーティングは無理なので、これまでのように10人くらいのグループで行えばよいのでは。
- ・書面会議だと、他の参加者の声を聞けないので「みんなで話し合っって何かを作り出す」という市民会議ならではのメリットが損なわれてしまうと思います。だから、ネットを使える人同士で、LINE等で他の参加者の意見が聞けるようになると思います。実際は個々のパソコン知識がわからないので、難しいとは思いますが、そういう会議があってもいいかなと思います。
- ・対面での開催が難しいなら書面が良いと思います。個人的にはリモートでの開催には消極的です。
- ・当面は、今回のように書面でも良いかと思います。
- ・各グループごとに会議室を用意して、ソーシャルディスタンスを取り開催、人数の減等。